



常任委員会

審査の報告

4つの常任委員会に付託された議案等の審査経過並びに結果は、3月21日の最終日の本会議において、各常任委員長からそれぞれ報告されました。下記はその概要です。

総務

※各常任委員会の所管部署
総合政策部、総務部、会計課、消防本部、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価委員会

施設整備には計画的な財源確保を

〔戸田市公共施設等整備基金条例〕

公共施設の整備計画や、積み立て限度額、積み立て期限などの資金計画について質疑があり、早急に整備計画の策定に努めていきたい。また、資金計画についても、具体化はしていないが、近い将来、公共施設が改修時期を迎えているので、財源確保に努めていきたい。

いとの説明がありました。

〔一般会計予算〕

財産管理費では、委員から、建物の防水効果は10年から15年程度で改めて工事が必要となっているが、フェルトガーデンの利用により、防水効果が延びるのか。また、市内の公共施設全体に可能性を広げられないか、研究してほしいとの意見がありました。



▲改修時期を迎えている学校給食センター
非常備消防費では、不足している消防団員の確保について、委員から、現在の18歳から30歳までという資格要件の緩和や、女性団員の登用、早朝・深夜手当の追加などを検討してほしいとの意見がありました。

健康福祉

福祉部
福祉事務所
医療保健センター

実態を把握し慎重な運営を…後期高齢者医療制度

〔後期高齢者医療に関する条例〕

保険料滞納者への対応である資格証明証について質疑があり、執行部からは、広域連合でも画一的な規定を適用して資格証を発行するのではなく、相談対応し、各市町村の対応内容を見ながら適宜判断したいと回答を受けており、市でも、悪質なものを以外は相談から始まり、分納等が可能なる方には即資格者証を発行しないようにするとの答

弁がありました。委員から、新たな制度が始まる時は慎重でなくてはならない。担当はできる限り実態をつかむようにとの要望がありました。

〔一般会計予算〕

民生費の高齢者福祉費では、敬老祝金の削減分の利用内訳について質疑があり、広く元氣老人のための事業として、東部福祉センターで実施されている「いきいの室ふれあい事業」を市内4カ所



▲老朽化が進む上戸田福祉センター(上)と上戸田ふれあい広場(下)

基金に約20億円もの積み立てを行うならば、起債しなくてもよいのではないかと質疑があり、基金積み立ては、取り崩しが必要ときに備えて行っており、起債につい

文教・建設

都市整備部
教育委員会

コスト削減を図った公共施設の建設・改修に

〔一般会計予算〕

土木費・道路維持費の集水樹清掃や河川総務費の水路ユスリ蚊消毒業務では、清掃の時期・回数について質疑を交わし、市民からユスリ蚊の苦情がくる前も含めて、しっかりと清掃してほしいとの意見がありました。

緑化対策費の戸田ヶ原自然再生事業では、サクラソウ・トダスゲなどの再生を目標とし、市民・学校・環境NPOなどの多様な主体で取り組む予定であるとの説明があり、それに対して、関係機関との連携を密にし、

では、後世の公平な負担の観点から、公共施設の建てかえや耐震補強に対する事業など、必要最小限で行っているとの説明がありました。



▲きれいなトイレは気持ちがいいですね(新普小トイレ)

国・県の補助金が活用できるような大いに折衝してほしいとの意見がありました。建築総務費の下笹目住宅建替事業や教育費・学校建設費のトイレ改修では、設計に市役所内部の有資格者を活用したり、設計施工で行うことで、コスト削減を図ってほしいとの意見がありました。

図書館費では、12時から13時までを休憩時間としている図書館分室について、図書館司書の資格を有するボランティアを活用するなどして、休憩なしで開館することを希望する市民の要望に応えてほしいとの意見がありました。

市民生活

市民生活部
水道部
農業委員会

新たな「ごみ」減量化策は

〔一般会計予算〕

交通対策費のコミュニティバス路線見直し調査業務については、コミュニティバス全路線の停留所ごとの乗降客数を調査したり、利用者あるいは周辺地域に対するアンケート調査を行い、それをもとに路線の提案をしてもらう。連休明けの5月か6月ぐらいにかけて実施したいとの説明がありました。

▲老朽化が進む上戸田福祉センター(上)と上戸田ふれあい広場(下)

る場合は蕨市と戸田市が統一してやっていく必要がある。当面の減量化対策として、本年4月1日から事業系のごみ袋を指定袋にするが、次の段階として、一般家庭のごみにも指定袋を導入して、それでもだめならば、その時点で有料化を検討する必要があるのではないかと考えているとの答弁がありました。

また、経費のからない方法として、分別をふやして、資源化率を上げたらどうかとの意見が出され、執行部からは、現在、本市は17分類で実施



▲全路線の見直しが行われます